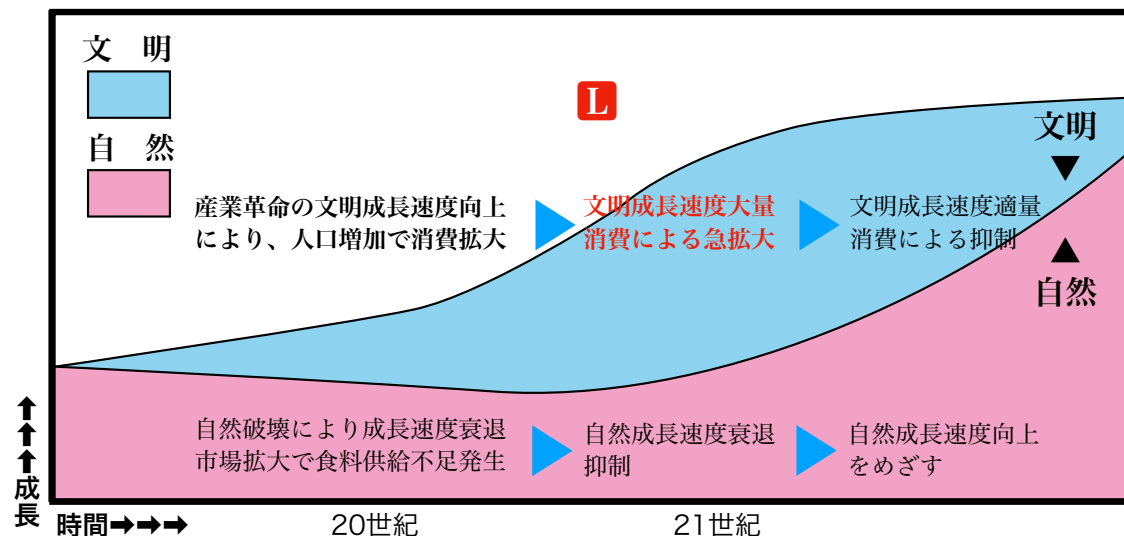


21世紀型価値観 (2)

20～21世紀の「文明と自然」の成長速度曲線



上記グラフに見られる文明の成長速度は、20世紀型大量消費に代表される需要拡大であり、自然界の発展速度は自然の成長に代表される資源の生産供給力です。つまり文明の成長速度を抑制し、自然界の成長速度を加速させることです。文明の成長速度を抑制するには、文明の質を高めることです。

21世紀に求められるのは、大量消費による無駄の排除、省エネルギーによる環境破壊抑制の生産体制の確立、循環型リサイクルによる製品ライフサイクルの延命や、ゼロエミッション、遺伝子解読、バイオテクノロジー開発による自然の成長速度の向上、ソーラーエネルギーなどの無限資源の有効活用、既存資源（電力9社は原子力発電から石炭による火力発電にシフト）の有効活用および価値創造（触媒などの化学反応や物理特性の把握と応用）などです。そしてボリュームに依存した経済成長から、価値創造に依存する経済成長へと価値観がシフトします。さらにITが、市場供給/分配のための適材・適所・適量・適価を随時加速推進し、下記4つがキーワードとなります。

①無駄の排除

①健康・安全の確保

①安心の獲得

余裕の創造